

支 援 部 通 信

令和元年3月17日

第9号

岩手大学教育学部附属特別支援学校 支援部

成人を祝う会が行われました

1月11日（土）、本校を会場にして、同窓会の成人を祝う会が行われました。

今年は、平成29年度に高等部を卒業した9名の新成人、新成人のご家族、同窓生、旧職員、高等部在校生、本校PTAの方々、そして本校職員の総勢78名が参加し、盛大に開催されました。

終始和やかな雰囲気の中、新成人の記念撮影、学校長や同窓会長、PTA会長からのお祝いの言葉、昼食会、旧職員や新成人の保護者の方々からのテーブルスピーチ、新成人の決意表明などが行われ、新成人の新たな門出を祝いました。



記念撮影

9名の皆さん、ご成人おめでとうございます。

和やかな雰囲気での昼食会。恩師との再会が嬉しかったようです。

旧職員からも、心温まるスピーチをしていただきました。

新成人の皆さんから、目標や決意を発表してもらいました。

第8回支援部学習会の様子

1月30日（木）に第8回支援部学習会を行いました。今回は岩手大学教育学部特別支援教育科准教授の鈴木恵太先生をお招きし、「発達障害の特性理解と特性に応じた支援」というテーマでお話いただきました。自閉症スペクトラム障害（ASD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）の特性と、それに応じた効果的な支援の仕方について、分かりやすくユーモアを交えて教えていただきました。会には教育関係者の他、保護者の皆様にも多数ご参加いただき、今回のテーマへの高い関心がうかがえました。

自閉症スペクトラム障害の特性についてのお話では、活動の流れに見通しをもちづらいという特性を挙げ、スケジュールボードや写真などを活用し、活動を「見える化」する支援について教えていただきました。また、注意欠陥多動性障害は、不注意性と多動・衝動性を主症状とする行動の障害であるとし、注意の程度に合わせた情報提示の工夫をしたり、注意が持続しやすい環境づくりをしたりすることが効果的な支援につながるというお話もありました。

家庭や学校などで新しい行動を身に付けるための支援については、「おもちゃの片付け」を例に挙げ、詳しく説明していただきました。すぐに実践できそうな内容で、参加された皆さんも真剣に聞き入っていました。何より、子どものより良い育ちを目指すために、学校や園と家庭とがタッグを組み、共通理解を図っていくことが支援の土台となるというお話が印象的でした。



1年を振り返って～学習会担当から～

昨年度に引き続き、学習会を担当させていただきました。近隣の幼稚園、保育所、小・中・高等学校・特別支援学校の教職員、そして、保護者の皆様と子どもの育ちについて一緒に考える機会を作っていきたいという思いで、今年度は発達性運動協調障害や摂食嚥下、発達障害の特性理解等、新たなテーマの学習会も企画しました。全8回のどの学習会においても多くの方にご参加をいただく中で、我が子や目の前の子どもたちへの思いや悩みについて一緒に考え、学び合うことができたのではないかと考えております。

今後も皆様方からいただいたご意見を、基に、皆様のニーズにお応えできるような内容の学習会を企画していきたいと考えております。

学習会の運営にあたり、たくさんのご参加やご協力をいただき本当にありがとうございました。来年度もご参加いただきますようお願いいたします。

<田口 ひろみ・齋藤 絵美>

1年を振り返って～同窓会担当から～

皆様のおかげをもちまして、年に2回の同窓会行事を終えることができました。同窓会行事には在校生の参加もあり、同窓生との良い交流の場となりました。

7月に開催されたかもめの会総会には、多くの同窓生や在校生が集まりました。近況報告やレクリエーション、昼食会などで交流を深めました。情報交換会には、たくさんの同窓生及び在校生保護者の方々にご参加いただき、卒業後の生活について活発に情報を交換し合いました。

1月の成人を祝う会には、新成人とその保護者、同窓生、旧職員、在校生とその保護者など、多数の方にお集まりいただきました。祝う会の中では新成人の近況報告や決意表明、旧職員からの思い出話などを聞きながら会食をし、新成人の門出をお祝いしました。高等部の在校生も、身近な先輩との再会を楽しみました。

年2回の同窓会行事を通して、同窓生との交流を深めるとともに、卒業後の進路や生活についての情報も得られる良い機会になっております。来年度もたくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

<品川 倫行>

1年を振り返って～相談支援担当から～

先日参加したセミナーで「そうだ、そうだ！」とうなずけた言葉がありました。そのイメージに結び付いた言葉は、「同じまなざしで」。子どもたちの良さやかわいさ、きらり光る個性を、日々の生活の中のささいなことに見つけ、面白い！かわいい！とその感動を共有する。放課後、子どもたちの話題でよく盛り上がる本校の職員のやり取りが正にそうです。訪問支援で伺った幼稚園や保育園でも同じような同僚性や空気感がありました。午後のカンファレンスでは、保育士さんたちが同じ園児さんの話題に目を細めています。日々の試行錯誤はこれでいいのかと不安げに語る保育士さん方ですが、その子どもたちの日々を見つめる温かなまなざしは、様々な様子を見せている子どもたちが心を寄せる「安心」の基になっています。訪問の園児さんと関わる時間の中で、すぐに私もその魅力に目を細めることになり、私もありったけの知識、経験、脳みそフル回転でお話をしてきます。来校相談や電話相談を利用される方も、困っていることや心配なこと、その胸の内をお話くださいます。私が見聞きしてきたことや「思い起こせば〇年前・・・。」と自身の“子育てあるある話”をさせていただくこともありました。笑顔に戻られ、お帰りになる姿に、これでよかったかなと振り返ります。

「そのまま大丈夫。」「こんな方法も。」いくつかの提案と笑い話（苦笑話）。これからの「あにわっこ」でも、「同じまなざしで」支援や相談をしていきたいと思えます。

<佐々木 弥生>

1年を振り返って～進路担当から～

小学部から高等部まで進級、入学、進路先が決まり一安心の3月ではないでしょうか。今年度も保護者、担任をはじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。来年度もよろしくお願いたします。

<今年度お世話になった事業所見学先>

高等部	中学部	保護者
二葉運送株式会社、ABC (A型) 杜のカフェ、さわら園、元気丸 アイエスエフネットライフ盛岡 福祉バンクみたけ店、ぼえむの森 株式会社サンデリカ、風の又三郎 とんぼ玉工房、ぞっこん広場 カフェラウンジフィールド 太田の園、あいのの、盛岡杉生園 ドリームファーム、むくり、歩夢 しらたき工房、ひめかみの風 まめ工房 順不同 22 事業所様	かんばす、ぞっこん広場、優 You あすなろ園、あすなろ屋羽場店 TKR マニュファクチャリングジャ パン東北工場、しあわせキッチン あいのの、ドリームファーム ワークセンターむろおか、新生園 ひゅーまにあ盛岡、ことりファーム 福田パン矢巾工場、杜のカフェ 順不同 15 事業所様	ブルリの杜、C a f eゆいの木 けやき学園、グループホームらら いちご園グループホーム エーワメディック株式会社 みたけの園、いわてパノラマ福祉館 ぞっこん広場、ちゃちゃまるの家 となんカナン、めだかの生活介護 順不同 12 事業所様

<令和2年からサービス開始予定の事業所>

いくはび都南教室 放課後等デイ	盛岡市三本柳 5-31-1 令和2年4月～
風の又三郎 B型、就労移行、短期入所	盛岡市緑が丘 3-2-56 令和2年6月～
てしろもりの丘 福祉型障害児入所施設よつば(定員40名) 障害者支援施設あおば(定員30名) 放課後等デイサービスあっぷるばい 相談支援事業所 らいふ	盛岡市手代森 6-10-6 令和2年9月～

<藤川 健>

1年を振り返って～終わりに～

支援部通信をご観くださりありがとうございます。おかげさまで、今年度も同窓会行事や学習会にたくさんのご参加をいただき、心温まるひと時を過ごしたり、子ども理解のための学びを深めたりすることができました。多くの皆様に喜んでいただくことができ、安堵しております。皆様のご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。今後も、皆様のニーズに応えられるようアンケート等にお寄せくださったご意見や感想を基に、取り組んで参りたいと思います。ありがとうございました。

<佐々木 弥生>